

個性を活かし自立した地方をつくるために

平成25年5月16日
新藤議員提出資料

Mission ミッション

個性を活かし自立した地方をつくる

～更なる地方に対する規制緩和^(※)と権限移譲

※義務付け・枠付けの見直しを指す

Vision ビジョン

- 行政の質と効率を上げる
- まちの特色・独自性を活かす
- 地域ぐるみで協働する

Approach アプローチ

新たなる推進体制の構築

- 地方分権改革推進本部で政策を検討・決定
- 有識者会議による調査・審議
- テーマごとに専門部会を設け、客観的な評価・検討

まずは、雇用対策部会と地域交通部会の2つを設置。無料職業紹介、自家用有償旅客運送(例:福祉タクシー)等に関する事務・権限の見直しをテーマとして議論開始。夏頃に一定の結論を得る。

Point ポイント

1: 住民の想いを大切にする

- 地域に対する住民の想いを大切にする
- 改革が住民生活をどう豊かにするのかを意識する

3: 地域の元気をつくる

- 地域の人材の持てる力を活かす
- 地域資源を掘り起こし、最大限活用する
- 日本全体の成長戦略に資するよう改革を目指す

2: 基礎自治体の考え方を汲み取る

- 都道府県や、住民に最も身近な市町村の意向に配慮しながら、改革を進める
- 多様な自治体の状況を踏まえる

4: 広域の連携を促進する

- 多様なネットワークを活用する
- 特に防災対策に係る緊密な連携は不可欠

Vision1. 行政の質と効率を上げる

- ・ 住民サービスの質を上げる
- ・ スピード感のある政策実行
- ・ 総合的なサービス提供
- ・ 国と地方の重複業務の解消
- ・ 電子行政などイノベーションの導入

地域における責任ある判断ができるよう
更なる地方に対する規制緩和と権限移譲

住民に幸せをもたらし、
元気を育てる

Vision2. まちの特色・独自性を活かす

- ・ 個性や地域の資源を活かす
- ・ 独自の発想による施策
- ・ 各地域の競い合い

Vision3. 地域ぐるみで協働する

- ・ 様々な活動主体を有機的に結びつける
- ・ 住民と自治体の相互の信頼関係
- ・ 多様な人材の活躍
- ・ 地域間の更なるネットワーク